

森本議員が地元木之子の声をくみ上げ実現しました

下の8件は、森本議員の5期目の4年間で実現した一部です



危険個所にガードパイプを設置（東郷）

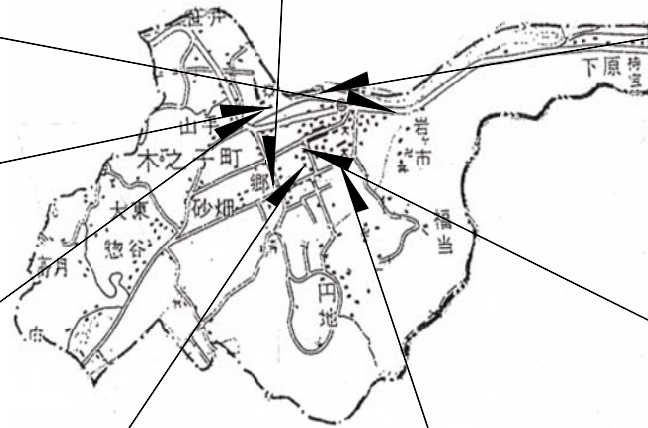


崩れがちな法面の補修（西郷）

大きな窪みが3個もでき、車や人が通るのが危険なのでアスファルトで舗装（談議所公園）



水道工事後のバルブとの段差解消の補修（余田）



木之子公民館の駐車場の土地確保に際し、森本議員が県外に居られる地権者に連絡し、市に譲り渡すことで了解を取り、市の計らいで立派な駐車場が完成しました（西郷）



老人ホーム「偕楽園」跡地を自治会長らと市に掛合い、笹井自治会で管理・運営をするようになりました（余田）



危険な側溝へ蓋を設置（西郷）



路面が大変傷んでいたため再舗装（東郷）



井原市井原町103番地 TEL62-6200
井原民報 号外 2008(平成20)年12月

平成17年4月に井原市議会議員選挙が行われ約4年が経ちました。この間みなさんからの声を森本、石井両議員が市議会等で取り上げ、次のことが実現しました。

みなさんの声を実現しました

- 平成17年4月から祝日も生(可燃)ごみが収集され始めました。
- 市民ギャラリーの清掃は、いままでは、展示などをする主催者が自主的にやっていたが、平成十七年四月から月一回清掃業者がするように改善されました。
- 井原地域の地区公民館に平成17年4月～5月にファックス電話が設置されました。
- 今まで一家族一枚だった国民健康保険証が、被保険者一人に一枚のカードになりました。
- 子どもの医療費無料の該当年齢が、平成17年10月1日から小学校入学前までに拡大。さらに、平成19年4月1日から小学校3年終了までに拡大されました。
- 芳井、美星地区の交通体系が見直され充実・改善されました。
- 平成18年10月から本市でパスポートの発給が可能になりました。
- 市例規集がインターネットで誰でも見られるようになりました。
- 避難場所の表示看板のない所は新設。いたんでいるところは更新されました。
- 井原市木之子町にあった井原市養護老人ホーム「偕楽園」を四季が丘へ移転新築し、平成19年4月に開所しました。
- 市立学校の耐震化優先度調査を平成18年度中に100%完了しました。現在、学校施設等の耐震工事の予算がつくなど、耐震工事が進められています。
- 単県医療費が一割負担となったため平成19年4月から、県の月額負担限度額の2分の1が低所得世帯に助成されます。
- 西江原幼稚園完成に伴い、平成19年4月から障害児の受け入れ、19時までの延長保育の実施、生後三ヶ月の乳児も受け入れています。
- 今まで指名競争入札だった工事のうち、土木、建築工事の予定価格4千万円以上について、平成19年8月から制限付一般競争入札制度を導入・試行されています。(森本市議は4千万円以上では不十分なので、せめて一千万以上にすべきだと提言)。
- 一人目の保育料が、平成19年4月から月額1,500円引き下げられました。
- 市営住宅の家賃の減免と徴収猶予が受けられる制度の周知徹底することになりました。
- 公共施設へのハート・プラスマークの設置が進みました。
- 市がごみの減量について市内の事業所に直接お願いに行きました。
- 井原図書館に隣接した駐車場が整備されました。
- 文化財紹介冊子・マップが作られることになりました。
- 児童クラブ指導員確保対策補助金がつきました。
- 溝蓋脱着機を2台購入し、芳井と美星支所に備え付ける。
- 生涯学習課でノートパソコンを一括(購入)整備し、地区公民館の要請により貸し出すことになり、現在貸し出しています。
- 井原市議会定例会の開会日、一般質問日、閉会日が井原放送で生中継されるようになりました。(日本共産党は以前から井原放送に対して生中継をしてもらうよう要望していました。)



四季が丘へ移転新築された井原市養護老人ホーム「偕楽園」



井原図書館南側に整備された駐車場